

東北のデザインとアート研究所

デザインとアートから東北を考える



所長 坂川 侑希 (ライフデザイン学部 産業デザイン学科 講師)

地域創生が叫ばれている昨今、地域を豊かにする方法としてデザインとアートが注目されていますが、その意義は未だ浸透していないという現状があります。そこで当研究所では、東北の地域資源や「らしさ」に着目し、産官民と連携しながら、デザインとアートによる地域創生と課題解決を図ることで、デザインとアートの価値や魅力を地域に浸透させるだけでなく、東北の未来を描くことができる人材の育成も目指します。

研究キーワード

- 東北 ●デザイン ●アート ●ローカルデザイン ●ビジュアルデザイン ●映像 ●工芸
- デザイン教育 ●アートプロジェクト ●環境芸術 ●産官学連携 ●地域連携 ●協創
- 地域創生 ●フィールドワーク ●ワークショップ ●郷土芸能 ●商店街

研究内容

- 産官学連携をベースとした東北のデザインとアートに関する実践的研究
- これからの地域創生に資するデザイン人材・アート人材の育成
- デザインとアートの振興



サンモール一番町商店街の魅力を発信する映像の制作



本町商店街の「らしさ」を発信するプロジェクトの成果報告会



端切れを生かしたペットボトルホルダー
(株式会社永勘染工場との産学連携プロジェクト)



「仙台げいのうの学校」との協働企画
郷土芸能を子どもに伝えるためのワークショップ

